

令和9(2027)年度 日本体育大学大学院 身体総合学術研究科 身体総合学術専攻 博士前期課程 学生募集要項

教育学学位プログラム

本研究科入学試験の出願手続きはインターネット出願（以下、Web 出願という。）となります。
出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、Web 出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが
配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してくだ
さい。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

不測の事態により入学試験要項の記載内容に変更が生じた場合は、本学のホームページにより周知します
ので、出願前や受験前は特に注意してください。

その他の入試に関する最新情報についても公表しますので、随時確認してください。

日本体育大学

目 次

| | |
|--|------|
| I. 身体総合学術専攻 教育学学位プログラム 博士前期課程について | |
| 1. 人材養成その他教育研究上の目的 | 3 |
| 2. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー） | 3 |
| 3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー） | 3 |
| 4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー） | 4 |
| II. 受験要領 | |
| 1. 募集人員 | 4 |
| 2. 出願資格 | 4 |
| 3. 学位プログラム及び分野 | 5 |
| 4. 入学試験日程等 | 5 |
| 5. 選抜区分及び出願要件 | 5 |
| 6. 出願書類 | 6 |
| 在留外国人の方・外国の学校出身の方へ | 8 |
| 7. 外国籍を有する者の出願書類について | 8 |
| 8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について | 9 |
| 9. 出願手続 | 9 |
| 10. 受験票について | 9 |
| 11. 選抜要領 | 10 |
| 12. 受験上の注意（一般選抜） | 10 |
| 13. オンライン試験要領（社会人選抜・キャリアパス選抜） | 11 |
| 14. 合格発表 | 12 |
| 15. 入学手続 | 13 |
| 16. 学 費 | 14 |
| 17. 出願前の個別審査が必要な方へ 《出願資格認定審査について》 | 15 |
| III. 2027 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域 | 16 |
| 【博士前期課程】研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む） | 20 |
| Web 出願の流れ、出願写真に関する注意事項 | （巻末） |
| 《各種様式・所定用紙》 | （別添） |
| 博士前期課程提出用紙 | |
| 「オンライン試験同意書」、「履歴書」、「志望理由書」、「承諾書」、「在職証明書」、「研究計画書」、 | |
| 「教育研究業績書（様式）」、「外国人入学願書」、「助教・助手経歴書（博士前期課程）」、 | |
| 「入学試験に係る事前相談について」 | |
| 出願資格認定審査提出用紙 | |
| 「出願資格認定審査申請書」、「申請理由等概要書」、「在職証明書」、「研究歴・指導歴概要書」 | |
| 出願者の提出書類について | |
| 出願にあたってお知らせいただいた個人情報、入学試験及び入学後の学内諸手続以外の目的には利用いたしません。 | |
| ※ I 期試験と II 期試験を受験する場合は、それぞれに願書が必要です。 | |

I. 身体総合学術専攻 教育学学位プログラム 博士前期課程について

1. 人材養成その他教育研究上の目的

教育に関する課題を見いだし、その課題を追究し、絶えず教育活動の改善、中でも特に授業の改善を行う「実践的な教育力」を備えた教師の養成を目指す。

教育の意義と役割を理解し、現代の教育課題を的確に捉え、教育学の諸分野の学術的アプローチを用いてその課題を解決する能力を習得させる。とりわけ小学校における教科（国語、社会、算数、理科、体育）の学習指導の専門性、あるいは、教育心理学や行政学等の基礎教育学の専門性を高め、教師としての探究力と実践的な研究能力を習得させる。

2. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学大学院学則及び関連規程に規定する修了の要件を充足した上で、次の知識・能力を有することが認定された者に修士（教育学）の学位を授与する。

《知識・理解》

[DP1] 学際的知識

身体に関する学際的視点（体育学・教育学・保健医療学）に基づいた幅広い知識を有する。

[DP2] 専門的知識

教育学に関する高度な専門的知識を修得し、最新の研究動向を理解している。

[DP3] 倫理観

研究者または高度専門職業人として必要な倫理的知識と倫理観を備えている。

[DP4] 国際性

教育学に関する知見を国際的視野から捉え、国際的な学術動向を把握している。

《専門的能力・汎用的能力》

[DP5] 研究遂行力

自ら研究課題を設定し、適切な研究計画を立案・実施できる。

[DP6] 論理的思考力

研究結果を的確に整理・考察し、成果として論理的にまとめることができる。

[DP7] 発信力・表現力

専門知識や研究成果をわかりやすく構成し、的確に伝達できる。

3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を達成するため、「大学院共通科目」「教育学研究群基礎科目」「教育学研究群教科実践科目」「教育学研究群専門科目」により体系的に教育課程を編成している。

[CP1] 体育学、教育学、保健医療学など、身体に関する学際的な視点に基づく知識と研究倫理の理解を深めるため、「大学院共通科目」を配置し「身体総合学術論」を置く。

《DPに掲げる知識・能力》学際的知識、倫理観

[CP2] 基礎教育及び教科教育の専門的知識を修得するため「教育学研究群基礎科目」（基礎教育概論、教科教育概論、基礎教育特論、教科教育特論、学校現場実習）を配置する。

《DPに掲げる知識・能力》専門的知識

[CP3] 小学校における主要教科（国語、社会、算数、理科、体育）の学習指導に関する実践的な専門性を高めるため「教育学研究群教科実践科目」（各教科の実践研究）を配置する。

《DPに掲げる知識・能力》専門的知識

[CP4] 指導教員のもとで、研究計画の立案から分析、論文検索（外国語論文含む）、論文執筆、成果発表に至る一連のプロセスを実践的に遂行することで、研究遂行力・論理的思考力・発信力・倫理観を総合的に育成するため、専門科目「（各分野）特別研究Ⅰ～Ⅳ」を配置する。また、各教科および基礎教育において、実践事例に潜む学習内容の構成原理を明確にし、それに基づいて新たな内容や事例を企画・検証する方法を修得するため「（各分野）セミナー」を配置する。

《DPに掲げる知識・能力》研究遂行力、論理的思考力、発信力・表現力、倫理観・国際性

[CP5] 他学位プログラムの科目を履修可能とし、専門的知識及び学際的知識の深化を図る。

《DP に掲げる知識・能力》学際的知識、専門的知識

4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育学学位プログラムの教育目的を達成するために、以下の資質を有する学生を求めます。

[AP1] 教育学に関する基礎的な知識を有している者。

[AP2] 教育分野における指導者、研究者、教育の発展に貢献する人材となることを志し、将来、国内外で積極的に教育に携わる意欲をもつ者。

[AP3] 教育学の研究や実践において、創造的な発想や発展の可能性を有し、新たな知見や価値の創出に意欲をもつ者。

[AP4] 基礎的な英語力を有していることが望ましい。

II. 受験要領

1. 募集人員

身体総合学術研究科 身体総合学術専攻

| 課程 | 学位プログラム | 募集人員 (I期・II期試験募集合わせて) |
|--------|------------|--------------------------|
| 博士前期課程 | 教育学学位プログラム | 10名 |

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者又は令和9（2027）年3月31日までに卒業見込みの者

(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和9（2027）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者

(3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和9年(2027年)3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和9（2027）年3月31日までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

(9) 令和9（2027）年3月末日で大学に3年以上在学し、優れた成績で所定の単位を修得したものと、本大学院が認めた者

(10) 本大学院において行う個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、入学時までに22歳に達する者

※重要：出願資格(9)(10)の該当者は、事前に出願資格認定審査が必要です。

《出願資格認定審査について》を確認し手続きをしてください。出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された者は本研究科の入学試験に出願することができます。

3. 学位プログラム及び分野

| 学位プログラム | 分 野 |
|------------|-------|
| 教育学学位プログラム | 国語科教育 |
| | 社会科教育 |
| | 算数科教育 |
| | 理科教育 |
| | 体育科教育 |
| | 基礎教育 |

4. 入学試験日程等

| 出 願 期 間 (Web 出願登録、出願書類受付期間) ※期間内消印有効 | I 期試験 | II 期試験 |
|--|---|---|
| | 2026 年 10 月 2 日(金) ～2026 年 10 月 9 日(金) | 2026 年 12 月 21 日(月) ～2027 年 1 月 8 日(金) |
| 試験当日の案内 (受付時間・URL 配信) ※一般選抜を除く | 2026 年 11 月 2 日(月) | 2027 年 2 月 1 日(月) |
| 試 験 日 | 2026 年 11 月 7 日(土) | 2027 年 2 月 6 日(土) |
| 合 格 発 表 日 | 2026 年 11 月 13 日(金) | 2027 年 2 月 12 日(金) |
| 入学手続締切日 | 2026 年 11 月 27 日(金) | 2027 年 2 月 26 日(金) |

5. 選抜区分及び出願要件

| 選抜区分 | 出願要件 |
|----------|--|
| 一般選抜 | 「2. 出願資格」に該当する者 |
| 社会人選抜 | 「2. 出願資格」に該当し、入学時に 24 歳に達する者で、 次の (1)、(2) のいずれかに該当する者 (1) 2027 年 3 月 31 日現在で、通算 2 年以上にわたり教育・研究機関で常勤 または非常勤の職務経験を有する者 (2) 青年海外協力隊等で海外における社会貢献活動の経験が入学時に原則と して 2 年以上ある者 |
| キャリアパス選抜 | 「2. 出願資格」に該当し、日本体育大学の任期制教員(助教、助手)として 経験を有する者 |

※出願資格(9)、(10)の該当者は、事前に出願資格認定審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された場合に一般選抜にて出願することができます。

6. 出願書類

出願書類のうち所定用紙となっているものは、別添《各種様式・所定用紙》から印刷して作成してください。

※提出する各種証明書の記載氏名が出願時の氏名と異なる場合は、氏名変更が確認できる戸籍抄本等の書類もあわせて提出してください。

●：全員提出 △：該当者のみ提出

| (注意：提出書類について) 提出書類のサイズは全て「A4 サイズ：片面印刷」で提出してください。 | | 提出該当者 | | |
|---|---|-------|-------|----------|
| | | 一般選抜 | 社会人選抜 | キャリアパス選抜 |
| 出願書類 | 連絡事項・注意事項 | | | |
| (1)志願票・写真票 | Web 出願完了後、Web 出願サイトより印刷してください。 余白および志願票・写真票は切り離してください。 | ● | ● | ● |
| (2)オンライン試験同意書 (所定用紙) | 社会人選抜、キャリアパス選抜の口述試験をオンラインで実施します。 内容を確認し、 <input checked="" type="checkbox"/> 及び署名・捺印してください。 | | ● | ● |
| (3)履歴書 (所定用紙) | ・「学歴」欄は高等学校卒業から記入してください。 但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。大学、研究所等で研究生等研究歴がある場合は、その期間も記入してください。 ・「職歴」欄は勤務していた全ての職を年月順に記入してください。社会貢献活動の経験はこの欄に記入してください。 記入欄が不足した場合は、同一様式の別紙に記入し添付してください。 | ● | ● | ● |
| (4)志望理由書 (所定用紙) | 必ず希望する研究指導教員と履修・研究等について相談し、指導の同意を得て出願してください。 ・「2027 年度研究指導担当教員及び研究指導領域」、「研究指導担当教員連絡先一覧」参照。 | ● | ● | ● |
| (5)学業成績証明書 | 出身大学長が作成したもの。 | ● | ● | ● |
| (6)卒業(見込)証明書 | 出身大学長が作成したもの。 ※出願資格に関わるもの | ● | ● | ● |
| (7)承諾書 (所定用紙) | 入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。個人事業主の場合は不要。 | △ | △ | △ |
| (8)在職証明書 (所定用紙) または 派遣証明書 ※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したものでも可。 | 出願要件を満たすことを証明できる在職証明書または派遣証明書を提出ください。複数の職歴で出願要件を満たす場合は、該当する職歴の証明書を全て提出してください。その際、所定用紙をコピーして現旧所属機関に依頼してください。 | | ● | ● |
| (9)研究計画書 (所定用紙) | A 4 版の用紙 (横書き) で、パソコン等により 2,000 字程度で作成し、片面印刷したものを所定用紙に添付してください。 以下の内容に沿って作成すること。 ①研究題目 ②研究の背景及び目的 ③方法 | ● | ● | ● |

| | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|---|
| <p>(10)教育研究業績書（様式）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 様式については、同様のものをパソコン等で作成したものでも可とする。 ・ 著書、学術論文、翻訳、学会発表等を「著書」・「学術論文」・「その他」に区分し、それぞれの業績を年代順に記載してください。 また、「学位論文」（修士論文または博士論文）は最後に記載してください。 ・ 概要欄は、論文、著書等ごとに 200 字程度で記入してください。 共著の場合は担当部分及びページ数を明記し、全員の氏名を記載し、本人氏名に下線を引いてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときはその理由を明記してください。 （例：共同研究につき本人担当部分抽出不可能） ・ 学会誌、雑誌等はその名称の他、巻・号まで記入してください。 ・ 学会誌等に投稿予定のものは含めないでください。 ・ 記入欄が不足した場合は同一様式の別紙に記入し添付してください。 ・ 本研究科における研究計画の内容と特にかわりのある「著書」、「学術論文」、「翻訳」、「学会発表の要旨」等がある場合は、それらを証明できる資料（コピー可）を添付してください。掲載予定のものについては、掲載証明書を添付してください。 ・ 「学位論文（修士論文または博士論文）」（コピー可）を添付してください。 | | ● | ● |
| <p>(11)外国籍を有する者の出願書類</p> | <p>外国籍を有する者は、出願書類の他に、以下の書類を提出してください。</p> <p>現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書のみ提出。</p> <p>①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書（3 か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの）</p> <p>②在留カードの写し</p> <p>③外国人入学願書（所定用紙）</p> <p>④日本語能力を証明する書類</p> <p>日本留学試験（EJU）の成績証明書（日本語科目の読解、聴解・聴読解 240 点以上、記述 30 点以上）、または日本語能力試験（JLPT）N1 の合格証明書</p> <p>⑤パスポートの氏名・生年月日が記載されたページのコピー</p> | △ | △ | △ |
| <p>(12)助教・助手経歴書（博士前期課程）（所定用紙）</p> | <p>日本体育大学の任期制教員（助教、助手）として経験を有する者は提出してください。</p> | | | ● |

在留外国人の方・外国の学校出身の方へ

★ 在留外国人の方は、必ず確認してください。

最終学歴の各種証明書について

日本国外（中国を除く）の大学・大学院を卒業・修了した方

卒業・修了証明書等に取得学位の記載がない場合には、学位取得証明書も提出してください。

中国の学校を卒業または修了した方は、「中国の学校を卒業・修了された方へ」に記載されている通りに書類を提出してください。

最終学歴の各種証明書は、原則として日本語または英語で表記された原本に限ります。

日本語または英語以外の言語で表記されている場合は以下の書類を提出してください。

| | |
|--------------|--|
| 各種証明書の原本※ | 出身学校から発行されたもの。 出身学校から1部しか発行されない場合は、公的機関が発行する Certified true copy でも構いません。 |
| 日本語または英語翻訳文※ | 大使館や自国公証処等の公的機関で認証を受けたものに限る。 |

※日本語教育機関（日本語学校等）が発行・認証するものは認めません。

中国の学校を卒業・修了された方

中国の学校を卒業・修了された方は、以下の書類を提出してください。

証明書類の入手に時間を要することが想定されます（申請から発行まで5週間程度かかる場合もあります）ので、早めに準備をしてください。

（1）卒業証書・卒業証明書「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

（2）成績証明書「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)

CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は下記の注意事項をよく読んで手続きしてください。

（3）学位取得証明書「学位認証書」(Verification Report of China Higher Education Degree Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。

博士前期課程を受験する方は、学士学位 (Bachelor's Degree) を取得していることが証明されていること。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Degree Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

学歴、成績、学位の認証書は CHSI 中国高等教育学生信息网 (<https://www.chsi.com.cn/en/pvr/>) が取り扱っています。

日本国内では CHSI 日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/>) での発行申請が可能です。

※1 電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD 教育部学生服务与素质发展中心から直接、日本体育大学大学院教学センター (daigakuin@nittai.ac.jp) に電子メールで送信されるように申請してください。

志願者による電子メールの転送は出願書類として認めません。出願期間を過ぎた場合は出願を受理しないことがありますので、気をつけて手続きしてください。

7. 外国籍を有する者の出願書類について

外国籍を有する者は、「6. 出願書類」を確認し、所定用紙を提出してください。

なお、本学では保証人は出願時には必要としませんが、入学手続き時に保証人を定めて届けることとしています。保証人は日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し独立の生計を営む者として、日本国籍を有する二重国籍者は提出不要です。

8. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

けが及び障がい等により受験時または入学後の配慮を希望する場合は、下記《事前相談の方法》を確認し、必ず事前相談をしてください。

なお、重度の障がいのある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

- (1) 「入学試験に係る事前相談について」(所定用紙)
- (2) 医師の診断書(原本又は写し)
- (3) 身体障害者手帳(氏名・障がい名の頁の写し)(所持者)
- (4) その他相談する際に必要と考えられる参考資料

9. 出願手続

「Web 出願の流れ」を確認して手続きしてください。出願は Web 出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web 出願は 24 時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日 23 時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで(営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

(1) 入学検定料の支払い

入学検定料：1 受験につき 35,000 円

Web 出願サイト「STEP 5 (入学検定料の支払い)」に従って支払手続きをしてください。

(2) 出願書類の郵送

書類の郵送：出願期間内消印有効

Web 出願完了後に、Web 出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角 2 封筒に提出書類を封入して、「速達・特定記録郵便」で郵送してください。「特定記録郵便物等受領証」は保管しておいてください。なお、窓口での出願受付は行っていません。詳細については、「STEP 6 (必要書類の郵送)」を確認してください。

① 志願票・写真票

入学検定料支払後、出力可能となります。A4 サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

② 選抜毎の提出書類

詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

◎注意事項

① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出した出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求(払込手数料を除く)ができる場合】

- ・入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。
- ・入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。

10. 受験票について

出願書類到着後、Web 出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web 出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。「STEP 7 (受験票の印刷)」を参照のこと。

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスメールで通知します。

※ 試験 3 日前までに Web 出願サイト上に受験票が確認できない場合、大学院教学センターまで連絡してください。

1 1. 選抜要領

〔試験実施日〕

I 期試験：2026 年 11 月 7 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟・オンライン

II 期試験：2027 年 2 月 6 日（土） 東京・世田谷キャンパス 教育研究棟・オンライン

| 選抜区分 | 受付時間 | 試験時間 | 試験科目 | 実施要領等 |
|--------------|-----------|-------------|-------------------|---|
| 一般選抜 | 8:30～9:00 | 9:30～10:30 | 専門科目 | ・教育学に関する専門的知識を問う。 ・教育学に関する問題（1 問題）を解答する。 |
| | | 11:00～12:00 | 英 語 | ・教育学に関する読解力を問う 1 問題を解答する。 ・語学辞書の使用可 |
| | | 12:20～ | 口述試験 (対面形式) | 出願書類の「研究計画書」に基づき、研究課題やこれまでの研究経過、及び入学後の研究計画等について日本語で問う。 |
| 社会人選抜 | 指定時間 | 指定時間 | 口述試験 (オンライン形式) | 出願書類の「教育研究業績書」、「研究計画書」に基づき、研究課題やこれまでの研究経過（職務経験を含む）及び入学後の研究計画等について日本語で問う。 |
| キャリア パス選抜 | 書類審査 | | | 出願書類に基づいて内容を審査する。 |
| | 指定時間 | 指定時間 | 口述試験 (オンライン形式) | 出願書類の「教育研究業績書」、「研究計画書」、「助教・助手経歴書」に基づき、研究課題やこれまでの研究経過（職務経験を含む）及び入学後の研究計画等について日本語で問う。 |

1 2. 受験上の注意（一般選抜）

（1）試験当日の注意事項

① 持参するものについて

「受験票」、「筆記用具」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)」、「昼食・飲み物」(任意)

※受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、受付に申し出てください。

- ② 受付で受験票を提示してください。受付後は、速やかに指定された試験場へ入室してください。また、受付後に担当者の許可無くキャンパス内を出歩くことはできません。なお、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。
- ③ 携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、すべての試験が終了するまでかばん等にしまってください。
- ④ 車での来学はできません。公共交通機関をご利用ください。
試験前日までに可能な限り試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。
- ⑤ 試験開始後 30 分を超えた遅刻は認めません。
- ⑥ 公共交通機関の事故等により、受付時間に間に合わない場合は、直ちに大学院教学センター（03-5706-0915）へ連絡するとともに、交通機関において遅延証明書の交付を受けてください。
- ⑦ インフルエンザ等の感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生に感染するおそれがあるため受験はできません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

（2）試験時間中の注意事項

- ① 「受験票」は、試験担当者が見やすいように机の上に置いてください。
- ② 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、以下とします。
・ 黒鉛筆 (HB)、シャープペンシル (HB)

- ・鉛筆キャップ
- ・プラスチック製消しゴム
- ・鉛筆削り（電動式・ナイフ類を除く）
- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く）
- ・眼鏡
- ・ハンカチ
- ・ティッシュペーパー（袋または箱から取り出した紙のみであること）
- ・目薬

※ 英語試験時に限り、語学辞書の使用が可能です。なお、英語試験時に使用可能な辞書とは、「英和辞書」、「中日辞書」、「韓日辞書」等の語学辞書に限ります。電子辞書、電子手帳等は使用できません。また、医学等専門用語の語学辞書は使用できません。付箋等は予め取り除いてください。

- ③ 「耳せん」は、試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので試験場内では使用できません。
- ④ 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。但し、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。
- ⑤ 試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。

1.3. オンライン試験要領（社会人選抜・キャリアパス選抜）

口述試験は、オンラインで実施します。以下のことを確認の上、受験してください。

（1）事前準備（機器・環境等）について

下記の要件を満たす必要があります。試験実施時までに各自準備してください。

なお、接続に伴う通信料の負担や機器類の貸出し等を行っておりませんので予めご了承ください。

【機器類】

- ・コンピュータ（PC）デスクトップまたはノートパソコン
 - ・イヤホンまたはヘッドホン
 - ・マイク（PC 内蔵または外部のマイク）
 - ・カメラ（PC 内蔵または外部の Web カメラ）
- ※ 使用機器はコンピュータ（PC）を推奨しますが、下記【アプリダウンロード】及びダウンロード後の使用に問題が無い場合のみ、タブレットやスマートフォンの使用を認めます。
- 但しそれらを使用する場合、電話の着信や通知等で試験が中断される可能性があるため、使用にあたっては、試験に影響が無いように十分に注意してください。

【環境】

- ・周囲に騒音等がなく、受験者本人以外の方が在室していない環境。
- ・オンライン試験に耐える接続状態が良好で安定したネットワーク接続が確保された環境。
（Wi-Fi 使用時における推奨帯域幅：600kbps/1.2Mbps（上り/下り））
- ・ネットカフェなどプライバシーに欠ける場所での受験はなさないでください。

【アプリダウンロード】

- ・試験当日に使用する PC 等に ZOOM 公式ホームページ (<https://zoom.us/download>) より、「ミーティング用 ZOOM クライアント」をダウンロードしてください。
 - ・ダウンロード後、各自で音声・マイク・映像等に問題ないか確認しておいてください。
- 参考：ZOOM ミーティングテスト (<http://zoom.us/test>)

（2）試験当日の受験までの手順

【用意する物】

- ・受験票、スマートフォンまたは携帯電話 ※試験中はマナーモードにしてください。
事前に申告した番号のスマートフォン、または携帯電話を受験時に手元に用意しておいてください。万一、回線等による音声通信に支障をきたした場合は、スマートフォン、または携帯電話を利用して試験を続行します。

① 受験者は、大学院教学センターから配信された E-mail 内の案内にある受付時刻になりましたら「受験用 URL」に接続をしてください。

② 試験順に時間を区切って集合して頂きます。必ず指定された時刻内に接続してください。

③ ZOOM に接続後は、必ず表示名をご自身の受験番号に変更してください。

※この時点から試験が終了するまでその場を離れることはできません。

- ・ マイクがミュートになっている場合は「ミュート解除」にしてください。
- ・ モニターに受験者の画像が映らない場合はビデオがオフになっていますので「ビデオ開始」にしてください。
- ・ 受験票を確認します。カメラに確認できるようにかざしてください。
- ・ 氏名を確認します。
- ・ 受験時間になりましたら、担当者が受験番号を呼びますので、担当者に返事をしてください。

④ 受験者を担当者が試験室へ移動させます。

- ・ 試験室に移動できたことを確認した後に試験開始となります。
- ・ 試験担当者からの指示に従ってください。

⑤ 試験が終了した後はそのまま退室してください。こちらで強制的に退室させる場合もあります。

【注意事項】

- ・ 必ず受験者本人が参加してください。
- ・ 本学が以下の項目に抵触する行為とみなした場合は試験不成立とみなし、オンライン試験を欠席扱いとさせていただきます。

➤ 担当者の指示に従わずに勝手な行動や行為をおこなった場合

➤ オンライン試験同意書の内容に反する行為をおこなった場合

《試験中のトラブルについて》

- ・ 受験中に回線等による影響で試験が続行できない場合は担当者の指示に従ってください。
- ・ 回線接続等の支障による原因で、やむを得ない場合は試験の順番を後に回して試験を行います。その際は、最初に接続した受験用 URL とは別の部屋で待機となります。音声、カメラは切らずその場を離れずに待機してください。待機中は不必要な動作はとらないようにしてください。
- ・ 回線状態が回復し試験続行が可能と判断した際に、再度試験室に移動し試験を続行します。

14. 合格発表

I 期試験：2026 年 11 月 13 日（金）10 時

II 期試験：2027 年 2 月 12 日（金）10 時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けませんので、下記照会方法をご確認ください。

(1) 利用方法・注意点

- ① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- ② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。
- ④ 合否照会システムの利用期間は次のとおりです。

| 合否照会システム利用期間 | | |
|--------------|--|--------------|
| I 期試験 | 2026 年 11 月 13 日（金）～ 2026 年 11 月 27 日（金） | 初日 10：00 ～ |
| II 期試験 | 2027 年 2 月 12 日（金）～ 2027 年 2 月 26 日（金） | 最終日 23：59 まで |

(2) インターネット（携帯電話・パソコン）での照会

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。
また、本学ホームページ（<https://www.nittai.ac.jp/>）より、上記アドレスへアクセスできますので、ご利用ください。

15. 入学手続

(1) 入学手続時納入金の手続締切日

I 期試験：2026 年 11 月 27 日（金）

II 期試験：2027 年 2 月 26 日（金）

- ① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続きを行ってください。
- ② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。
- ③ 振込金受領書（本人保存）は、入学手続きをした証明になりますので大切に保管してください。

(2) 入学辞退について

【窓口】 2027 年 3 月 31 日（水） 17：00 まで

【郵送】 2027 年 3 月 31 日（水） 消印有効（速達・特定記録郵便としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。
入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

○提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1

TEL 03-5706-0915

事務取扱時間：平日 8:30 ～ 17:00

冬季一斉休業期間：2026 年 12 月 26 日（土）～ 2027 年 1 月 5 日（火）

16. 学 費

授業料及び施設整備費は、全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学時分の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・施設整備費（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会入会金の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）・施設整備費（後学期分納分）のみとなります。

2027年度 日本体育大学大学院身体総合学術研究科 博士前期課程学費等一覧 (円)

| 費 目 | | 納入期 | 金 額 | | | |
|-----------|--------|---------|--------------------------|---------|-----------|---------|
| | | | 日本体育大学以外の卒業生 | | 日本体育大学卒業生 | |
| | | | 前学期 | 後学期 | 前学期 | 後学期 |
| ①学 費 | 入学金 | 入学時のみ | 100,000 | — | 0 | — |
| | 授業料 | 分納可 | 350,000 | 350,000 | 350,000 | 350,000 |
| | 施設整備費 | 分納可 | 50,000 | 50,000 | 50,000 | 50,000 |
| | 健康管理費 | 前学期 | 10,000 | — | 10,000 | — |
| ②その他費用 | 学友会費 | 前学期 | 13,000 (入会金1,000円を含む) | — | 12,000 | — |
| | 同窓会入会金 | 入学時のみ | 20,000 | — | 0 | — |
| 総合計 (①+②) | | 分納の場合 | 543,000 | 400,000 | 422,000 | 400,000 |
| | | 一括納入の場合 | 943,000 | | 822,000 | |

※ 日本学生支援機構貸与奨学金「授業料後払い制度」があります。制度の利用を希望する方は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

● 「国の教育ローン」(教育貸し付け) について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。

詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656 (03-5321-8656)、または「国の教育ローン」で検索、<https://www.jfc.go.jp/>から「国の教育ローン」を選択してください。

17. 出願前の個別審査が必要な方へ

《出願資格認定審査について》

本学大学院研究科では、「学校教育施行規則第155条第1項第8号の規定」により、前記「出願資格(9)、(10)」に該当する出願資格認定対象となる方について、出願資格の有無を判定するために予備審査を行います。

「出願資格認定審査」は、入学者選抜試験ではありませんので注意してください。

出願資格認定審査要領

審査を希望する方は、必ず大学院教学センターまで事前相談を済ませた上で申請願います。

出願資格認定審査には、下記書類の提出が必要になります。提出期日等を確認の上、お早目にご準備ください。事前相談を済ませていない場合は申請できません。

※出願資格認定審査に提出した書類内容に虚偽が発生した場合は、入学試験に合格した場合でも合格の取り消しとなりますので注意願います。

・提出方法

封筒に、「出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず「速達・特定記録郵便」で必要な書類を郵送してください。

「特定記録郵便等受領証」は保管しておいてください。

・送付先 〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 日本体育大学大学院教学センター

・書類提出期限（郵送のみ）

I期試験：2026年9月4日（金）必着

II期試験：2026年12月1日（火）必着

・提出書類

出願資格(9)

- ① 出願資格認定審査申請書（所定用紙）
- ② 学業成績証明書
- ③ 受験承諾書（学長または学部長が発行するもの：様式任意）
- ④ 卒業論文、またはこれに準ずるもの

出願資格(10)

- ① 出願資格認定審査申請書（所定用紙）
- ② 申請理由等概要書（所定用紙）
- ③ 卒業証明書（最終学歴のもの）
- ④ 学業成績証明書（最終学歴のもの）
- ⑤ 研究歴・指導歴概要書（所定用紙）
学歴、職歴、実務経験（研究歴、指導歴を含む。）、資格、これまでの学習内容を記載し、大学卒業と同等以上の学力があると判断する理由が説明されているもの
- ⑥ 研究歴・指導歴、専門的な業務に従事したことを証明するもの
在職証明書（所定用紙）、研究歴証明書等
- ⑦ 自己の著書、論文または国家資格等自己の能力を証するものがある場合は、当該著書、論文若しくは当該自己の能力を証する書類

上記書類のうち所定用紙、様式等の指定があるものは別添《各種様式・所定用紙》から印刷して作成してください。

・審査結果 I期：2026年9月11日(金)、II期：2026年12月11日(金)

登録されたメールアドレスにお知らせします。

2027 年度 研究指導担当者及び研究指導領域

教育学学位プログラム 博士前期課程

| 研究指導担当教員の表記内容 | | |
|---------------|----------|--------------------|
| ★★ | 研究指導教員 | 研究指導を担当することができる |
| ★ | 研究指導補助教員 | 研究指導教員とともに研究指導ができる |

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員、または研究指導補助教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願することがないようにして下さい。

| | | | |
|-----------------------|---|-------------------------|---|
| 教員検索（大学HP 教員情報データベース） |  | 研究者検索（国立研究開発法人科学技術振興機構） |  |
|-----------------------|---|-------------------------|---|

(50音順)

| 教員名 | 研究指導領域 |
|--------------------------------------|---|
| ★ 分野：基礎教育 教授 石田 有記 修士（教育学） | 研究内容のキーワード：教育課程行政、学校経営、カリキュラム・マネジメント (1) カリキュラム研究 ①学校における教育課程の経営（編成・実施・評価）に関する研究 ②教育課程の展開を支える学校組織の経営に関する研究 (2) 教育課程行政研究 ①国における学習指導要領改訂をめぐる政策に関する研究 ②地方教育行政における学校の教育課程をめぐる政策過程に関する研究 |
| | 研究内容のキーワード：不安、ストレス、感情、態度、生理的反応、発達障害 心理学の立場から、心と身体に関連を実証的に研究し、その成果を教育や健康に応用する。調査ならびに実験により測定した ① 心理的反応、② 行動的反応、③ 生理的反応を分析し、仮説検証していく。 |
| ★★ 分野：理科教育 教授 稲田 結美 博士（教育学） | 研究内容のキーワード：教材開発 カリキュラム研究 教師教育 女子教育 (1) 理科の教授・学習論 ① 理科に対する学習者の情意面に関する研究 ② 学習者の特性に応じた理科指導に関する研究 ③ 理科の教材開発に関する研究 (2) 理科の教科課程論 ① 理科の学習内容の選択および配列に関する研究 ② 理科の教科課程に関する国際比較研究 |
| | 研究内容のキーワード：道徳教育 道徳科 (1) 道徳教育 ①児童生徒の心を育てる実践的取組に関する研究 (2) 道徳科 ①道徳授業の充実へ向けた教材開発に関する研究 ②道徳授業づくりに関する研究 ③道徳授業における教師の授業力量向上に関する研究 |

| 教員名 | 研究指導領域 |
|---|---|
| <p>★★★ 分野：体育科教育 教授 近藤 智靖 博士（体育科学）</p> | <p>研究内容のキーワード：体育科教育学、スポーツ教育学</p> <p>(1) 体育科のカリキュラム論 ① 体育の教育課程における目標に関する研究</p> <p>(2) 体育科の学習指導論 ① 体育の教材に関する研究 ② 教師行動に関する研究</p> <p>(3) 体育授業研究 ① 体育における学習成果に関する研究 ② 児童生徒行動に関する研究</p> |
| <p>★★★ 分野：体育科教育 教授 白旗 和也 博士（スポーツ健康科学）</p> | <p>研究内容のキーワード：体育科教育学、教師教育、幼児期・児童期の発育発達</p> <p>(1) 体育科の指導に関する研究 ① 学習指導要領に基づく、カリキュラム作りに関する研究 ② 体育の教材づくりに関する研究 ③ 学習カード、ICT活用などの評価の研究</p> <p>(2) 教師教育に関する研究 ① 教師の効力感向上に向けた支援方法の研究 ② 教師行動に関する研究</p> <p>(3) 発育発達に関する研究 ① 幼児期の動きづくりに関する研究 ② 児童の動きの獲得・体力の変化に関する研究</p> |
| <p>★★★ 分野：国語科教育 教授 杉本 直美 博士（教育学）</p> | <p>研究内容のキーワード：読書指導、作文指導、学力調査</p> <p>(1) 国語科学習指導論 ① 読書生活を視野に入れた読書指導に関する研究 ② 記述過程を中心とした作文指導に関する研究</p> <p>(2) 国語科学習評価論 ① 学力調査を活用した評価（特に記述における評価）に関する研究 ② 学習指導要領を踏まえた学習評価に関する研究</p> |
| <p>★★★ 分野：体育科教育 准教授 鈴木 康介 博士（スポーツ科学）</p> | <p>研究内容のキーワード：体育科教育学、スポーツ教育学、教材開発、運動指導</p> <p>(1) 体育科の学習指導に関する研究 ① 体育の授業づくり、教材づくり、教材構成に関する研究 ② 体育における運動指導に関する研究 ③ 学校における教科横断的な学びに関する研究</p> <p>(2) 幼少期における運動指導に関する研究 ① 幼少期の子どもの動きに関する研究 ② 教育課程内・課程外における子ども（幼児・児童・生徒）の運動指導に関する研究</p> |
| <p>★★★ 分野：基礎教育 教授 関 芽 修士（教育学）</p> | <p>研究内容のキーワード：教育行政、教育制度</p> <p>①教育の専門的指導性と民衆統制の調和の探究 ②教育における意思決定の正当性と正統性の探究 ③熟議民主主義実現における課題とその克服の探究 ④公教育における価値中立性の探究</p> |

| 教員名 | 研究指導領域 |
|--|---|
| <p>★★★ 分野：社会科教育 教授 田口 紘子 博士（教育学）</p> | <p>研究内容のキーワード：社会科教育学、教科教育学</p> <p>(1) 社会科教育の原理研究 ① 社会科教育の理論的基盤 ② 小学校社会科の目標と構成</p> <p>(2) 初等社会科教育指導の研究 ① 社会科学習指導の原理 ② 社会科授業研究 ③ 社会科教育における評価</p> |
| <p>★★★ 分野：体育科教育 教授 野井 真吾 博士（体育科学）</p> | <p>研究内容のキーワード：教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学、子どものからだ、子どもの体力、子どもの健康</p> <p>キーワードは、「子ども」「からだ」「心」「体力」「健康」「元気」「生活」。</p> <p>研究領域は、教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学。具体的には、子どものからだ、心、体力、健康、元気、生活が「どこかおかしい」、「ちょっと気になる」、「なんか心配」といった保育・教育現場の教諭や養護教諭、さらには、子育て中のお母さん、お父さんの“実感”をたよりに、子どものからだにこだわってその“事実”を明らかにし、“実体”を追究する活動（問題を発見するための研究）と、発見された健康課題を改善し、子どもの元気を具現化するための活動（問題を解決するための研究）とに努めている。</p> |
| <p>★★★ 分野：基礎教育 教授 半田 勝久 修士（教育）</p> | <p>研究内容のキーワード：教育制度、人権教育、子どもの権利、子ども条例、子ども計画</p> <p>(1) 教育制度学にかかわる研究 ① 法解釈学的研究（教育制度に関する法の論理から教育法を解釈する） ② 法社会学的研究（教育制度の制定・実施・改善の過程や社会慣行と法制度との関係などを明らかにする）</p> <p>(2) 子どもにやさしいまちづくりにかかわる研究 ① 子どもの権利条約、子ども条例に関する研究（制定、運用、評価・検証 他） ② 子ども計画に関する研究（策定、実施、評価・検証 他） ③ 子どもオンブズパーソン制度に関する研究（法制度、独立性、運営、研修 他） ④ 子どもの権利の普及・啓発（人権教育、子どもの権利学習 他）</p> |
| <p>★★★ 分野：基礎教育 准教授 村井 敬太郎 博士（体育科学）</p> | <p>研究内容のキーワード：知的障害、特別支援学校（知的障害）、体育科、保健体育科の授業、子どもの運動支援、教員・支援員支援</p> <p>特別支援学校（知的障害）や児童発達支援の先生方と協働し、主に学校等の現場において特別支援学校（知的障害）における体育科、保健体育科の授業づくりや児童発達支援における子どもの運動遊びに関する実践研究に取り組んでいます。主な研究領域は次の通りです。</p> <p>1.特別支援学校（知的障害）体育科、保健体育科の学習支援に関する研究 1)体育科、保健体育科の授業づくり、教材づくり、教員支援等に関する研究 2)体育科、保健体育科等における子どもへの運動支援に関する研究 3)特別支援学校（知的障害）における体育科、保健体育科の教育課程に関する研究</p> <p>2.知的障害のある子ども（主に幼少児）への運動支援に関する研究 1)知的障害のある子ども（主に幼少児）の体の動きの向上に関する実践研究 2)知的障害のある子ども（主に幼少児）の日常生活動作支援に関する実践研究</p> |
| <p>★★★ 分野：算数科教育 助教 村田 翔吾 博士（教育学）</p> | <p>研究内容のキーワード：算数科・数学科教育学、数学的活動</p> <p>(1) 算数科・数学科教育内容論 ① 算数科・数学科の目標・内容の構成原理に関する研究 ② 算数科・数学科における教育課程文書・教科書の比較研究</p> <p>(2) 算数科・数学科教育方法論 ① 算数科・数学科における教材開発（課題設計）に関する研究 ② 算数科・数学科における探究活動の促進に関する研究</p> |

| 教員名 | 研究指導領域 |
|---|--|
| <p>★★ 分野：基礎教育 教授 若尾 良徳 博士（教育学）</p> | <p>研究内容のキーワード：発達心理学、教育心理学、教師・保育者、キャリア形成、働き方、職場風土、ライフコース</p> <p>(1) 発達・教育に関する心理学的研究 ① 子どもの発達に関する研究 ② 子どもの学びと心理的適応に関する研究</p> <p>(2) 教師・保育者のキャリアと職場に関する研究 ① 教師・保育者のキャリア形成、職業意識、職業継続に関する研究 ② 教育・保育現場における働き方、人間関係、職場風土に関する研究</p> <p>(3) ライフコースと心理社会的発達に関する研究 ① 青年期から成人期にかけての進路選択、職業意識、将来展望に関する研究 ② 仕事、家庭、生活の調和と個人の発達・適応に関する研究</p> |

[博士前期課程] 研究指導教員一覧表(研究指導補助教員を含む)

(教員資格欄) 指導－研究指導教員、(補助)－研究指導補助教員

| 教員資格 | 氏名 | フリガナ | 担当分野 | 電話番号 | メールアドレス |
|------|--------|------------|-------|----------------|-----------------------------|
| (補助) | 石田 有記 | イダ ユキ | 基礎教育 | (03) 5706-1265 | yk.ishida@nittai.ac.jp |
| 指導 | 市川 優一郎 | イチカ ユウイチロウ | 基礎教育 | (045) 530-5143 | yichikawa@nittai.ac.jp |
| 指導 | 稲田 結美 | イダ ユミ | 理科教育 | (03) 5706-1317 | inada@nittai.ac.jp |
| 指導 | 門脇 大輔 | カドワキ ダイスケ | 基礎教育 | (03) 5706-0947 | kadowaki@nittai.ac.jp |
| 指導 | 近藤 智靖 | コンドウトモヤス | 体育科教育 | (03) 5706-1337 | kondohtomoyasu@nittai.ac.jp |
| 指導 | 白旗 和也 | シラハタ カズヤ | 体育科教育 | (03) 5706-1495 | shirahata@nittai.ac.jp |
| 指導 | 杉本 直美 | スギモト ナミ | 国語科教育 | (03) 5706-1589 | sugimoto.n@nittai.ac.jp |
| 指導 | 鈴木 康介 | スズキ コウスケ | 体育科教育 | (03) 5706-0960 | suzuki-kosuke@nittai.ac.jp |
| 指導 | 関 芽 | セキ メグム | 基礎教育 | (03) 5706-1368 | megumuseki@nittai.ac.jp |
| 指導 | 田口 紘子 | タグチ ヒロコ | 社会科教育 | (03) 5706-0924 | h-taguchi@nittai.ac.jp |
| 指導 | 野井 真吾 | ノイ シンゴ | 体育科教育 | (03) 5706-1543 | nois@nittai.ac.jp |
| 指導 | 半田 勝久 | ハンダ カツヒサ | 基礎教育 | (03) 5706-1267 | khanda@nittai.ac.jp |
| 指導 | 村井 敬太郎 | ムライ ケイタロウ | 基礎教育 | (045) 963-7938 | kmurai@nittai.ac.jp |
| 指導 | 村田 翔吾 | ムラタ ショウゴ | 算数科教育 | (03) 5706-1493 | smurata@nittai.ac.jp |
| 指導 | 若尾 良徳 | ワカオ ヨシノリ | 基礎教育 | (03) 5706-0896 | wakaoy@nittai.ac.jp |

Web出願の流れ



入学検定料支払い前であれば、正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP

1

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)
必要書類※は、準備に時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※必要書類…調査書、顔写真データ、各選抜毎の提出書類など



(顔写真データ)

STEP

2

Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/nittai-net/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.nittai.ac.jp/>

からアクセス



STEP

3

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



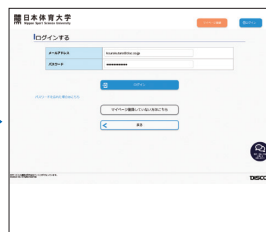
② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



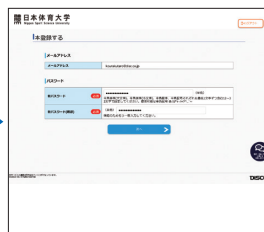
③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。



⑧ 個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。

Web出願サイトによる登録だけでは出願完了となりません。必ず支払期限までに入学検定料を支払い、必要書類提出期限までに特定記録・速達郵便にて送付してください。必要書類が本学で受理された時点で出願完了となります。必要書類提出期限までに届かない必要書類は、いかなる理由でも受け付けません。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。



⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

4

出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②大学・大学院区分の選択



③選抜区分選択と留意事項の
確認



④志望学部等の選択



⑤顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力



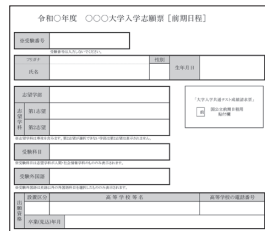
⑦出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
クリックすると志願票が確認できます。



⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードまたはネットバンキングを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



Webで手続き完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

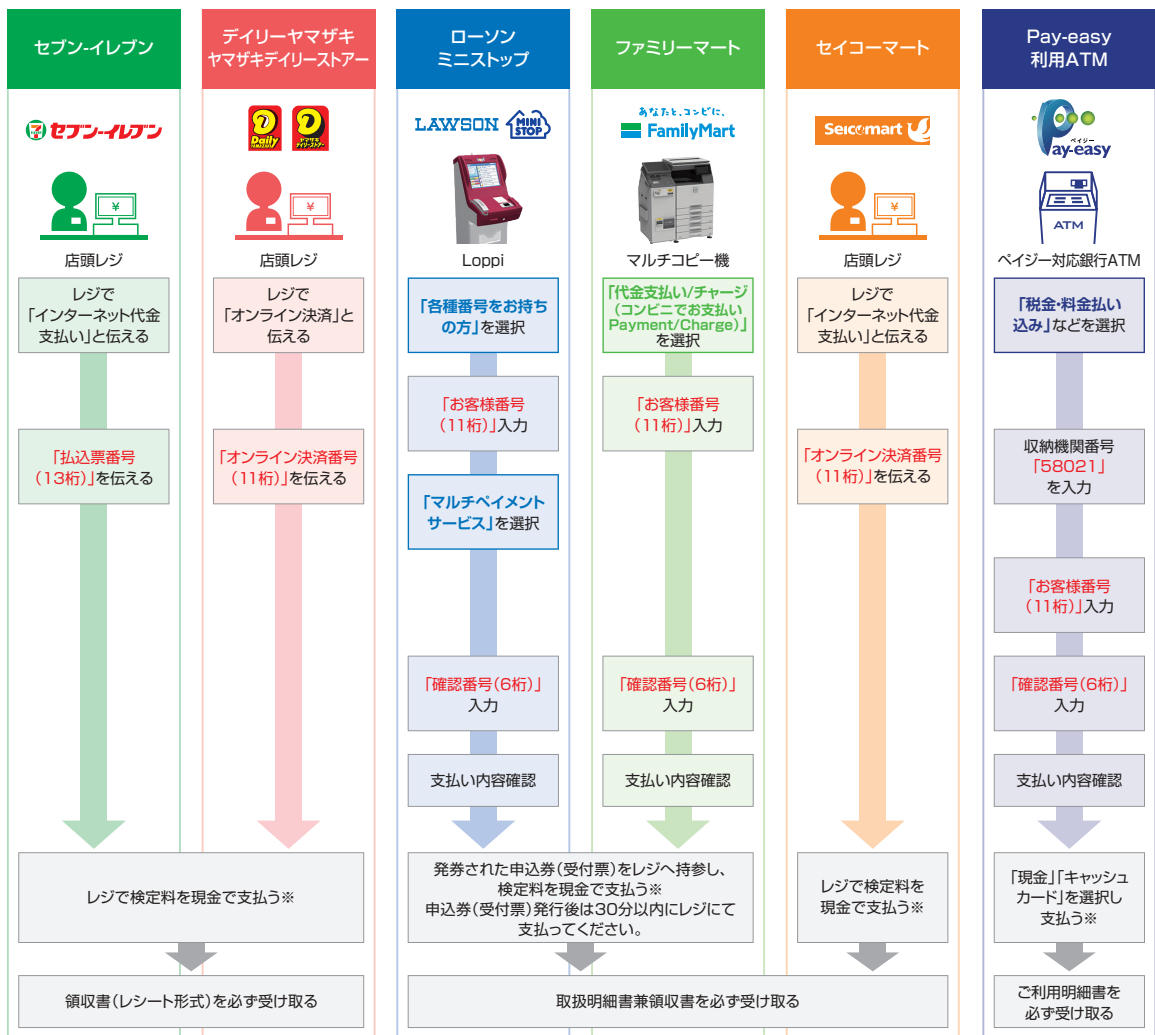
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

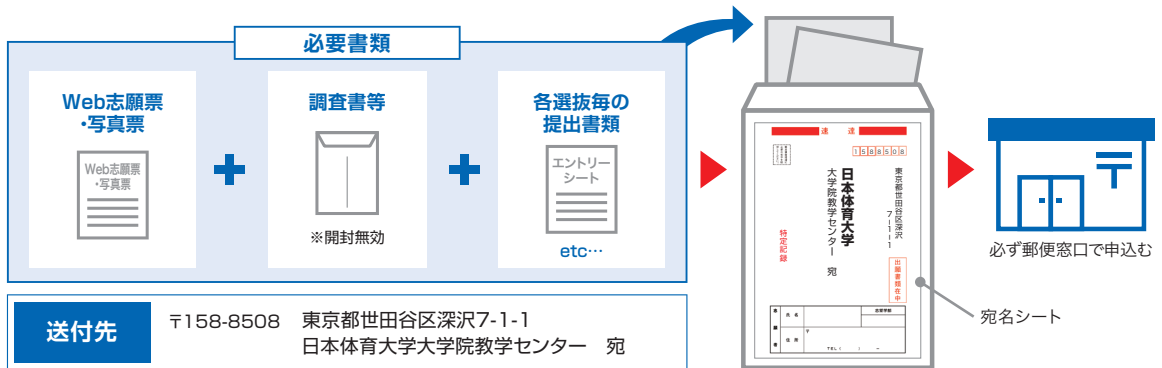
STEP

6

必要書類の郵送

Web出願登録・入学検定料支払いを行っただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面または確認メールに記載されている必要書類を、出願期間内に郵便局窓口から「速達・特定記録郵便」で郵送してください。（出願期間内消印有効）



■ 出願書類

出願書類に関しては以下の表を確認してください。

| 必要書類 | 必要部数 | 内容 |
|--------------|------|--|
| ① Web志願票・写真票 | 各1 | 入学検定料支払後、出力可能となります。 A4サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。 |
| ② 各選抜毎の提出書類 | 1 | 詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。 |

※ 出願受理した必要書類は一切返却しません。

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はWeb出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録だけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web出願は24時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日23時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります）、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

STEP

7

受験票の印刷

本学で出願を確認後、各入試毎に出願期間受付終了後から試験3日前までに一斉に受験票を配信します。インターネット出願システムよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください（※郵送はいたしません）。

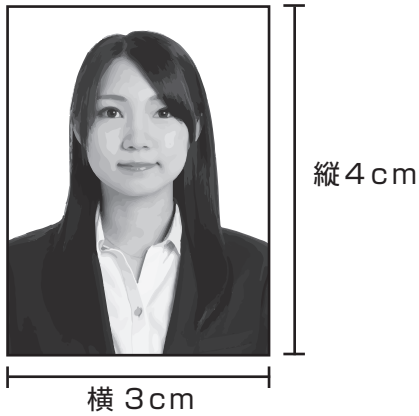
※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙に片面印刷にしてください。



《出願写真に関する注意事項》

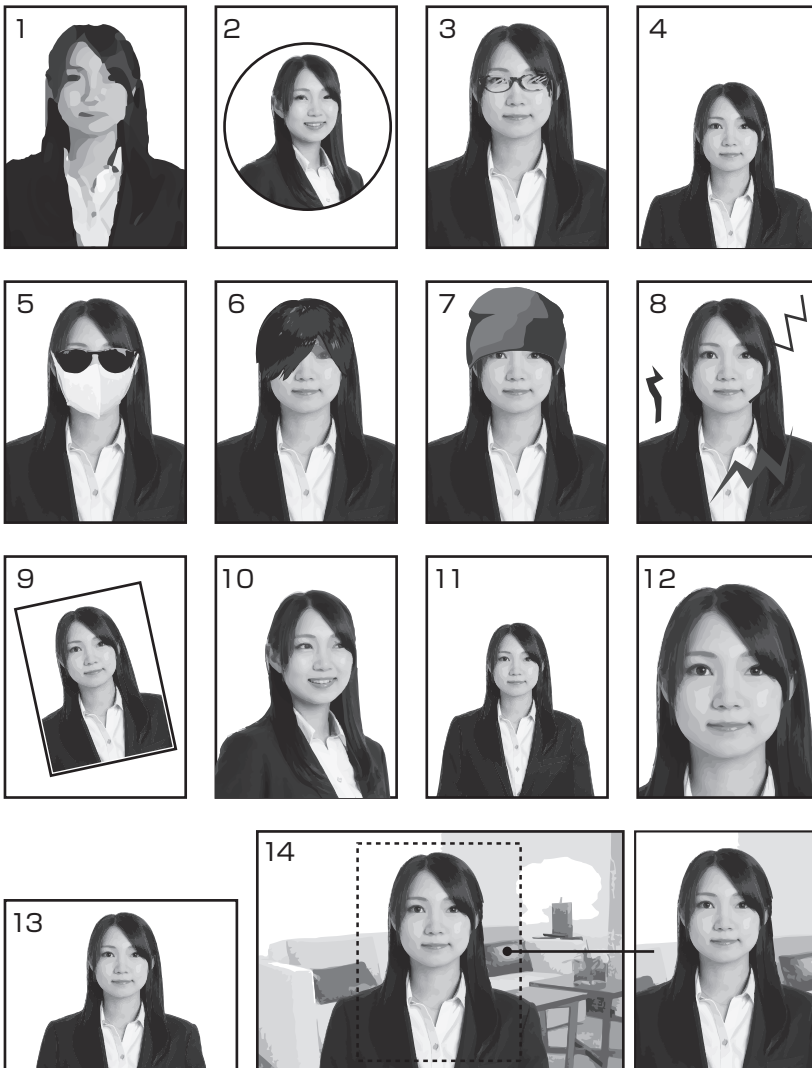
適切な写真例



■ 写真の規定

- 写真サイズは縦 4 cm × 横 3 cm
- カラー写真、白黒写真いずれも可とします
- 出願前 3ヶ月以内に撮影したもの
- 背景は無地(白・青・グレー)に限ります
- 正面を向いた本人の顔がはっきり確認できるもの
- 上半身で脱帽、頭部全体が写っている
- 所定用紙(受験票・写真表・志願表)に貼付する写真は、全て同一の写真を貼付してください

下記項目に該当する場合は受付できませんのでご注意ください。



■ 受付できない写真例

- 1, 被写体が不鮮明(画像が荒い)
 - 2, スナップ写真・SNS・ブログ等から流用した写真
 - 3, 眼鏡のレンズに光が反射している
 - 4, 頭上の余白部分が多い
 - 5, サングラスやマスクをしている
 - 6, 前髪や前髪の影で目を隠し、顔が確認できない
 - 7, ヘアバンドや帽子で頭髪を覆っている
 - 8, 変色していたり、キズや汚れがある
 - 9, 証明写真を再撮影したもの
 - 10, 被写体が正面を向いていない
 - 11, 被写体が小さい
 - 12, 被写体が大きすぎて写真からはみ出している
 - 13, 写真サイズが横に長い
 - 14, 背景に家具等が写っている
- ※ 該当する場合は必ず撮り直してください。